

1. 事業実施の方針

特定非営利活動法人フェアトレード名古屋ネットワークは、名古屋を中心とする名古屋大都市圏の幅広い人々に対してフェアトレードを普及促進するための事業を行い、名古屋市の「国際フェアトレードタウン認定」を将来にわたって維持する取り組みを行うことで、身近な「買い物」を通して経済的な格差や貧困問題の解決に貢献し、環境の保全に広い関心を持ち、すべての人が夢、希望、尊厳をもって生きられる、市民が誇りに思える、魅力と活力にあふれる社会の実現に寄与することを目的とする。

具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、①フェアトレードを促進するイベント、広報事業、②フェアトレードタウン認証の維持、調査事業、③フェアトレード関連団体間の情報共有、連携事業、④ESD/SDGs等の様々な運動やセクターとの連携事業を実施する。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

① フェアトレードを促進するイベント、広報事業

名古屋および名古屋大都市圏の行政、企業、教育機関、NPO・NGO・任意団体等様々なセクターが連携する機会として、FTNNや各団体の活動状況、フェアトレードに関する最新情報を共有して広げ深め合う、セミナーやイベントなどを主催する、もしくは開催に協力する。

ア、名古屋市主催フェアトレードセミナー「フェアトレードタウンなごやのススメ」への協力

(ア)実施内容

地域ぐるみでフェアトレードを推進する「フェアトレードタウン運動」。市民が中心になり行政・大学・学校・企業を巻き込んで、フェアトレードの理念でつながるフェアトレードタウンの輪を地域内にも全国にも広げ深めるため、名古屋市がセミナーを毎年3月に開催している。今年は、あいち・なごやCOP10開催から10周年の年、テーマを「フェアトレードと生物多様性・気候変動」とし、フェアトレードタウン運動で解決できる地球環境課題を考えるセミナーの開催に協力する。主催：名古屋市環境局

(イ)実施予定日時：令和2年3月22日（日）

(ウ)実施予定場所：SMBCパーク栄

(エ)従事者の予定人数：当日運営要員 3名

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数：フェアトレードに関心のある一般市民 100名

(カ)収益見込み額：0(千円)

(キ)費用見込み額：5(千円)（内訳）交通費 5,000円

イ、「世界フェアトレード・デーなごや」への協力

(ア)実施内容

「世界フェアトレード・デー」は世界中で同じ日に、各地域でフェアトレード推進イベントを開催する日。

2015年にフェアトレードタウンに認定された名古屋では、2010年から毎年「世界フェアトレード・デー・なごや」を開催。「コーヒーサミット」と題して、フェアトレードの理念で、生産地とのつながりを育む美味しいコーヒーを飲み比べる人気企画。フェアトレードコーヒーから広げ、ダイレクトトレード・コミュニティトレード、オーガニック（有機無農薬）、サステナビリティ（持続可能性）、トレーサビリティ（透明性）、スペシャリティーコーヒーを扱う出店者を集め、フェアトレードの理念のコーヒーから、世界の課題を知り、消費することで解決を目指すイベントの開催に協力する。

主催：世界フェアトレード・デー・なごや実行委員会

(イ)実施予定日時：令和2年5月9日（土）

(ウ)実施予定場所：名城公園 tonarino(トナリノ)

(エ)従事者の予定人数：当日運営要員 3名

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数：一般市民 5,000名

(カ)収益見込み額：0(千円)

(キ)費用見込み額：0(千円)

ウ、名古屋市主催「環境デーなごや 秋のフェアトレードタウンまつり」への協力

(ア)実施内容

環境について楽しみながら学べる市民・事業者・行政が協働で行う市内最大の環境イベント「環境デーなごや」（今年21回目）の一環として、「フェアトレードひろば」エリアを設け、ファッションショーやトーク・クイズのステージやマルシェ・ワークショップによって、フェアトレードの理念とフェアトレードタウンの魅力を伝えるイベント「秋のフェアトレードタウンまつり」を開催（2016年～）し、今年で5回目の開催となる。環境の課題から一人ひとりが今行動すべきことを考える契機とする交流イベントの中で、環境と共にフェアトレードを学び合えるイベントの開催に協力する。主催:名古屋市環境局

(イ)実施予定日時:令和2年9月19日(土)

(ウ)実施予定場所:久屋大通公園

(エ)従事者の予定人数:当日運営要員3名

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数:一般市民30,000名

(カ)収益見込み額:0(千円)

(キ)費用見込み額:0(千円)

エ、フリーペーパー「惣」の発行

(ア)実施内容

フェアトレード認知度向上と、日本全国でのフェアトレードタウン運動のさらなる促進を図るため、フェアトレードタウンなごやの活動事例等を紹介することで、フェアトレードタウン運動の意義・魅力を伝えるフリーペーパー「惣～sou～11号」を5,000～7,000部程度印刷し、無料配布する。

(イ)発行予定日時:令和2年5月

(ウ)実施予定場所:団体各所、高校・大学等、イベント・セミナー・講演会の会場等で配布

(エ)従事者の予定人数:編集要員3名

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数:日本全国のすべての人

(カ)収益見込み額:0(千円)

(キ)費用見込み額:170(千円)(内訳)(デザイン料100,000円、印刷費50,000円、編集費・交通費20,000円)

オ、ホームページの強化

(ア)実施内容

フェアトレードタウンなごやの認知度向上とフェアトレードタウン活動のさらなる促進のため、ホームページを強化する。フェアトレードの理念やFTNNの活動を伝えて、親しんでもらうため、ホームページでの情報提供の充実を図る。全国のフェアトレードタウン最新情報など、見やすく伝わりやすくするための改善を行う。

(イ)実施予定日時:随時

(ウ)実施予定場所:特に指定なし

(エ)従事者の予定人数:3名

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数:全ての人

(カ)収益見込み額:0(千円)

(キ)費用見込み額:70千円(内訳)制作諸経費70,000円

カ、FTNN交流会の開催

(ア)実施内容

フェアトレードに関するテーマで、映画の上映や、会員やゲストからの、取り組み(活動)、ビジョンの共有(情報交換等)によって、会員・一般市民とのつながりを広げ、フェアトレードに対する意識の向上や、会員との交流となる会を3ヶ月に1回を目処に行う。運営スタッフを会員から募集し運営する。

(イ)実施予定日時:年4回(2月22日総会の後・5月・8月・11月)

(ウ)実施予定場所:名古屋市内の会場

(エ)従事者の予定人数:180名(1回30名×6回)

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数:FTNN会員を中心に一般市民等

(カ)収益見込み額:0(千円)

(キ)費用見込み額:40(千円)(ゲスト謝金5,000円×6回=30,000円、雑費・交通費10,000円)

② フェアトレードタウン認証の維持、調査事業

ア、フェアトレード産品取扱店の調査

(ア)実施内容

名古屋市のフェアトレードタウン認証を維持し、3年毎の更新審査に備えるため、名古屋市内におけるフェアトレード産品取扱店の数、取扱品目等を調査し、データベース化する。

(イ)実施予定日時：通年

(ウ)実施予定場所：名古屋市内のフェアトレード産品取扱店等

(エ)従事者の予定人数：調査要員 10名

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数：フェアトレードタウン認証された名古屋市の市民 約232万人

(カ)収益見込み額：0(千円)

(キ)費用見込み額：10(千円) (内訳)交通費・雑費 10,000 円

イ、フェアトレード認証ラベルのないフェアトレード産品の認定制度の運営

(ア)実施内容

名古屋市のフェアトレードタウン認証を維持し、3年毎の更新審査に備えるため、国際フェアトレード認証ラベルのFairtrade International(FLO)か、World Fair Trade Organization(WFTO)のフェアトレード認証ラベルがない産品を審査し、フェアトレード基準を満たしていることを認定する。制度を運営する。

(イ)実施予定日時：通年

(ウ)実施予定場所：名古屋圏内のフェアトレード産品輸入販売事業者・フェアトレード産品取扱店等

(エ)従事者の予定人数：審査要員 5名

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数：フェアトレードタウン認証された名古屋市の市民 約232万人

(カ)収益見込み額：0(千円)

(キ)費用見込み額：10(千円) (内訳) 交通費・雑費 10,000円

ウ、フェアトレードタウン認定の更新申請の準備

(ア)実施内容

名古屋のフェアトレードタウン認定を維持するための3年毎の更新審査に備えて準備をする。タウン更新に向けて定めた今後3年間の目標「フェアトレード認証ラベルのないフェアトレード産品の基準策定と運営」に取り組むことで、タウン認定基準1～6までそれぞれの目標達成を目指す。国際的なフェアトレード認証ラベルがないフェアトレード産品に対し審査し、フェアトレードの理念にかなった基準を満たしているかを自己採点し確認する制度を運営する。そうした産品の開発も促進する。その実現のために6基準での活動を総動員する。

(イ)実施日時：1月～12月

(ウ)実施場所：特に指定なし

(エ)従事者の人数：2名

(オ)受益対象者の範囲及び人数：フェアトレードタウンとして認定された名古屋市民 約232万人

(カ)収益見込み額：0(千円)

(キ)費用見込み額：0(千円)

③ フェアトレード関連団体間の情報共有、連携事業

ア、一般社団法人 日本フェアトレード・フォーラム (FTFJ) 団体間の連携支援

(ア)実施内容

フェアトレードの普及および啓発に関する事業・国内および国際的なネットワーク事業を通して、途上国における貧困削減や環境保護だけでなく、日本国内の地域社会の活性化や自律的な発展にも寄与する「フェアトレードタウン運動」を推進する日本の中心団体FTFJとの連携で、国内外の最新フェアトレードタウン情報を共有し、日本国内でのフェアトレードタウン運動の広がりを促進する。日本国内でのフェアトレードタウン化の促進支援を行う。

(イ)実施予定日時：通年 (FTNN代表理事がFTFJ理事として理事会・総会に参加)

(ウ)実施予定場所：Zoom会議、日本国内のフェアトレードタウン及びタウン認定を目指す市・町等

(エ)従事者の予定人数：運営管理要員 1名

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数：フェアトレードタウンとして認定された名古屋市民 約232万人

(カ)収益見込み額：0(千円)

(キ)費用見込み額：10(千円)(内訳)FTFJ会費10,000円

イ、ユース層を主体としたフェアトレード関連団体間の連携支援

(ア)実施内容

名古屋および名古屋大都市圏の将来の発展を担う大学生や高校生などユース層を主体としたフェアトレード関連団体間の連携を促進するため、各関連団体が情報共有できる場を提供する。

(イ)実施予定日時：通年(必要に応じて随時)

(ウ)実施予定場所：名古屋市内の公共施設等

(エ)従事者の予定人数：運営管理要員2名

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数：ユース層を主体としたフェアトレード関連団体メンバー等

(カ)収益見込み額：0(千円)

(キ)費用見込み額：5(千円)(内訳)交通費・雑費5,000円

④ ESD/SDGs等の様々な運動やセクターとの連携事業

ア、ESD/SDGs等各種イベントへの協力

(ア)実施内容

名古屋および名古屋大都市圏におけるフェアトレードの認知度向上とフェアトレードタウン活動が進展する契機として、世界フェアトレード・デーなごや(主催:世界フェアトレード・デーなごや実行委員会)、環境デーなごや「秋のフェアトレードタウンまつり」(主催:名古屋市)、名古屋まつり・エシカル・デー(主催:エシカルなごや推進委員会)、消費生活フェア(主催:名古屋市)など、イベントに協力する。また、ESD/SDGsの普及等の様々な運動との連携を進める。

(イ)実施予定日時

令和2年10月18日 名古屋まつり・エシカル・デー2020(白鳥庭園)

令和2年10月10・11日 ワールド・コラボ・フェスタ2020(栄オアシス21)

令和2年11月3日 フェアトレード・コーヒーガーデン(名古屋市庁舎)

令和2年11月 消費生活フェア2020(オアシス21)

令和2年12月3日~5日 エコプロ2020(東京ビッグサイト)

その他(適宜)

(ウ)実施予定場所：名古屋市内のイベント会場等

(エ)従事者の予定人数：当日運営要員延べ20名(2名×10回)

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数：フェアトレードタウン名古屋市の市民約232万人

(カ)収益見込み額：0(千円)

(キ)費用見込み額：56(千円)(内訳)交通費40,000円、出展料等16,000円

イ、フェアトレード講演会・出前授業の講師の紹介

(ア)実施内容

名古屋および名古屋大都市圏の小・中・高等学校・大学や社会教育施設において開催されるフェアトレード講演会や出前授業の講師として、FTNN会員やフェアトレード関係者を紹介する。

(イ)実施予定日時：通年(適宜)

(ウ)実施予定場所：小・中・高等学校、大学、社会教育施設等

(エ)従事者の予定人数：受付要員1名

(オ)受益対象者の範囲及び予定人数：全ての人

(カ)収益見込み額：0(千円)

(キ)費用見込み額：0(千円)

(2) 会議の開催に関する事項

① 総会

ア、第4回定例総会

(ア)開催日時及び場所：令和2年2月22日 場所：クリばこ

(イ)収益見込み額：0(千円)

(ウ)費用見込み額：20(千円)(内訳)資料プリント製本代10,000円：会場費10,000円

② 理事会

ア、第1回理事会

(ア)開催日時及び場所 : 令和2年1月21日 19時~21時 場所: クリばこ

(イ)議題

第1号議案 フリーペーパー「惣Sou 第11号」のテーマについて

2010年にあいち・なごやで開催された「生物多様性条約第10回締約国会議 (COP10) 開催から10年を記念して、生物多様性とフェアトレードとの関連を表す内容とする。

第2号議案 FTNN交流会の運営について

会員の交流・学習の場として映像を視聴するなども含めて交流内容を充実させていく。年間4回の開催とする。開催曜日は、多様な生活スタイルの方々に参加しやすくするため「土曜日の午後」開催と「金曜日の夜」開催を交互にする。

第3号議案 3/22名古屋市主催「フェアトレードタウンなごやのススメ」への協力について

以下の内容でイベント協力を行うことを議決した。

日時: 令和2年3月22日(日) 13:00~16:30 / 会場: SMBCパーク栄

主催: 名古屋市環境局 / 協力: NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク (FTNN)

内容: 世界と地域の課題を解決しようとするフェアトレードタウン運動と結びついている環境の問題。名古屋では「地球とのフェアトレード」をテーマに、途上国からのフェアトレードだけでなく、国内・地域内のフェアなトレード、自然環境に対してのフェアなトレードを取り入れています。今年はいち・なごやCOP10開催から10周年の年、フェアトレードタウン認定都市である名古屋から、フェアトレードと生物多様性・気候変動問題を考えます。

第4号議案 5/9世界フェアトレードデーなごや2020コーヒーサミットへの協力について

以下の内容でイベント協力を行うことを議決した。

日時: 令和2年5月9日(日) 10:00~17:00 / 会場: 名城公園 tonarino(トナリノ)&フラワーセンター周辺

主催: 世界フェアトレード・デー・なごや実行委員会 / 協力: NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク (FTNN)

内容: 「世界フェアトレード・デー」は世界中で同じ日に、各地域でフェアトレード推進イベントを開催する日。名古屋での開催は今年で11年目。「コーヒーサミット」と題して、フェアトレードの理念で、生産地とのつながりを育む美味しいコーヒーを飲み比べる企画。第11回はフェアトレードコーヒーから、さらに、ダイレクトトレード・コミュニティトレード、オーガニック(有機無農薬)、サステナビリティ(持続可能性)、トレーサビリティ(透明性)、スペシャリティーコーヒーを扱う出店者を集め、コーヒー豆生産地からのフェアトレードを紹介し、認知を広げ深める。

第5号議案 第4回通常総会の付議事項、総会用資料と運営について 話し合い、決議した。

イ、第2回理事会 令和2年3月16日(月) 予定

ウ、第3回理事会 令和2年5月19日(火) 予定

エ、第4回理事会 令和2年7月20日(月) 予定

オ、第5回理事会 令和2年9月23日(水) 予定

カ、第6回理事会 令和2年11月24日(火) 予定